

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所こだま		
○保護者評価実施期間	令和6年12月10日		～ 令和7年1月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	令和6年8月1日		～ 令和6年8月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○訪問先施設評価実施期間	令和6年12月10日		～ 令和7年1月20日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 1
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月28日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	母集団での活動方法に加え、運動支援に対する取り組みに支援していけること。	保育園や学校等の普段から生活する母集団の中でどのように集団活動に入っていけるか、日常的にケアできることはないか、介入方法等を所属施設職員と共有している。	それぞれの分野での意見交換を活発に行い、それぞれの分野の良さを最大限に生かしていけるような体制や関係性作りを行っていく。
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	業務の都合上、保育所等で支援していけるケース数が限られる。	支援担当者の不足や利用者の増加に伴い、一人あたりの支援回数が限られてしまう。	通所頻度の調整を行いながら、必要な児に保育所等訪問支援を提供できる体制作りを行っていく。
2			
3			